

山江村議会だより

No.96

# まるおか

丸岡公園のつつじ

## 目次

- 第2回山江村議会定例会 …… P2
- 一般質問 …… P3~8
- 第3回臨時会及び各種研修 …… P9
- 現地調査・編集後記「だんだんなあ」 P10

令和7年4月30日発行 発行:山江村議会 編集:広報編集特別委員会

熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356-1 ☎(0966)23-3401 FAX(0966)24-5669 山江村域内電話 ☎23-3401

# 令和7年第2回山江村議会定例会

令和7年3月10日から14日までの5日間、第2回定例会を開催し、令和6年度補正予算6件、発議1件、同意1件、条例改正等14件、令和7年度当初予算7件の29件を可決しました。令和7年度一般会計当初予算は43億3千6百万円（前年度比▲3千百万円）となりました。

## 質疑

## 答弁

### 山江村職員生成AI活用推進条例の制定について

#### 横谷議員

1. 生成AIを活用した業務の効率を向上させる職員研修の計画は。
2. 情報漏洩等に対するセキュリティ対策は。

#### 総務課長

1. 生成AIを活用したアプリ、チャットGPTの研修を6回行っている。
2. 役場職員しか閲覧することができない、有料版のアプリを導入する。

### 令和7年度山江村一般会計予算

#### 白川議員

1. 土木総務費の負担金補助及び交付金に辻急傾斜地崩壊対策事業負担金とあるが、その内容は。

#### 建設課長

1. 県が行う施工延長170mの事業。その測量設計委託料1,200万円のうち、村負担分400万円を計上したものの。

#### 本田議員

1. 保育園等副食賄い材料費290万円及び保育料補助金利用者負担分620万円の内容は。

#### 健康福祉課長

1. どちらも保育料の完全無料化のための予算。290万円は3歳以上、620万円は3歳未満の園児に対する予算。

#### 赤坂議員

1. 石倉拠点整備事業費の委託料及び工事請負費の内容は。
2. 社会福祉費の村社協補助金の増額の理由は。

#### 企画調整課長

1. 委託料は旧栗選果場解体のための監理委託料。工事請負費は旧栗選果場解体工事を始め用地の造成等に要する予算。

#### 中村議員

丸岡公園管理委託料の増額の理由は。

#### 健康福祉課長

2. 職員の昇給に係る人件費の増が主な要因。

#### 北田議員

1. 公共施設清掃委託料の増額の理由は。
2. 栗まつり実行委員会助成の増額の理由は。
3. みどりの食糧システム戦略費、ラジコン草刈機の運用方法は。

#### 企画調整課長

1. 桜の老木を伐採し、その後に植栽を行うための予算が主な要因。

#### 西議員

1. つつじ祭り実行委員会助成の増額の理由は。
2. 地方公共団体システム機構負担金及び熊本県電子自治体運営協議会負担金の増額の理由は。
3. 税務総務費の航空写真図書編集作業委託料及び定額減税給付システム改修委託料の内容は。
4. 中学校費修繕料の増額の理由は。

#### 総務課長

1. 清掃委託事業の増加及び人件費や材料費の高騰によるもの。

#### 企画調整課長

2. 各種設備借上料などの高騰によるもの。
3. 3ヶ所の栗園にて作業効率を検証するため、ラジコン草刈機を導入するもの。将来的には貸出等も検討していく。

#### 横谷議員

公有林造成費の委託料の内容は。

#### 企画調整課長

1. キャラクターショー及び各種設備等借上料の増加によるもの。
2. システム標準化、及び職員の情報共有システムの導入経費。

#### 立道議員

1. 再生可能エネルギー事業費の水力発電事業調査設計委託料の内容は。

#### 税務課長

3. 地籍システム及び既存の定額減税システム改修に係る経費。

#### 教育課長

4. 渡り廊下ひさし屋根の雨漏り修繕や排煙装置の修繕が主な要因。

#### 久保山議員

手のひら役場電子申請システム使用料の内容は。

#### 産業振興課長

1. 新層の村有林に係る主伐や間伐及び横手畑の間伐や搬出のための経費。

#### 企画調整課長

1. 令和6年度に作成したゾーニングマップに基づき、万江川での水力発電に係る調査費用。

#### 総務課長

1. お手持ちのスマートフォンから、所得証明や印鑑証明、施設の借用などの申請ができるシステムのための経費。

### 令和7年度山江村特別会計国民健康保険事業予算

#### 横谷議員

1. 高額療養費制度を受けられた方は今年度どのくらいおられたか、また来年度の見込みは。

#### 健康福祉課長

1. 令和6年度も未だ確定はしていないが、90名から100名を見込んでおり、令和7年度も同様に見込んでいる。



北田 愛介 議員



## ■ 男女共同参画社会の実現は？ ■ 旧日本道路公団から移譲を受けた施設の管理状況は？

**問** 男女共同参画社会の実現に向けた現状と課題

令和3年3月に策定された山江村第3期男女共同参画基本計画が令和7年度で最終年度を迎えるが、計画の実現における現状と課題をどのように整理しているか。

**答** 健康福祉課長

平成23年4月に山江村男女共同参画推進条例を施行して推進を図っている。その中で行政、村民、事業所が共同して男女参画を進めている。課題として、性別による固定観念や社会慣習が根強く残っている。女性の政策、方針決定への参画の拡大のための環境整備。ワークライフバランスの実現。防災対策や災害復興に男女共同参画の視点を取り入れることが求められている。

**問** 現計画に基づいた数値目標の達成状況を伺う。

**答** 健康福祉課長

研修の実施、学校行事への父親の積極的参加などおおむね目標値に達している。社会通念慣習、しきたりなど固定的性別役割分担意識の解消などは課題がある。基本法や推進計画の認知度については、目標値に向けて努力している。地域活動については、女性自身が役に就くことに消極的ではあるが、各委員会等の女性の割合は、平均39.4%で目標値に達している。

**問** 旧日本道路公団から移譲を受けた道路や橋梁等の現状は

**問**

八代〜人吉間の九州縦貫自動車道路の建設に伴い移譲を受けた道路や橋梁、水路等の延長や個所

数を伺う。

**答** 建設課長

平成2年5月に旧日本道路公団から移譲を受けた施設は、道路が105カ所、約1万8km、橋梁が11カ所、220m、水路が69カ所、4千4百m。

**問**

施設の老朽化等による改良や改修の実施状況を伺う。

**答** 建設課長

年間を通じて道路パトロールを行っており軽微な補修などは都度行っている。村民からの要望には、現地確認を行い必要な対策を行っている。橋梁については、5年おきに定期点検を実施。

**問**

村道認定部分は交付税の交付対象になるが管理計画などは策定しているのか。

**答** 建設課長

策定していないが、7年度において路面正常化調査を行う。橋梁については、橋梁長寿命化修繕計画により適正管理を行う。現在、下城子排水路を工事中。7年度において大王谷排水路改修工事を計画。SA排水路の対応も検討中。



傷んだ側道



合戦の峰跨道橋



立道 徹 議員



# ■ 森林環境譲与税について

## ■ 物価高騰支援給付金について

### ■ ICT 教育について

#### 森林環境譲与税について

**問**

令和元年度に森林環境譲与税の譲与が始まり、その用途及び基金がどのくらいあるのか

**答 産業振興課長**

森林の整備、人材の育成や確保、木材利用促進、普及啓発に充てることとなっている。

本村においても毎年度ホームページに掲載し、令和5年度分は、令和6年10月にホームページに公表している。本村では、民有林の森林管理に関する意向調査を行う会計年度任用職員の人件費やシステム使用料、林地作業道の生コン舗装に対する原材料費、有害鳥獣駆除隊への活動助成金、林業従事者に対する支援や新規従事者に対する支援、再造林や間伐促進に対する補助金、地域材活用促

進支援事業、環境学習や子供たちの活動に対する支援等に使っている。残りの残額を基金として積み立てている。

基金は、令和6年度で、3,600万円程度（見込み）となる。

**問**

令和2年の災害からの林

道坂本山江線の災害復旧工事も完了し、坂本の境まで通行できるようになったが、落石がある箇所、舗装が傷んでいる箇所などがあり、安心して通行できない状況である。そこでこの森林環境譲与税を活用しながら、そのような箇所の対策・補修等ができないか。

**答 産業振興課長**

林道の維持補修において、森林整備の中上路網の整備という項目があるので活用して、整備等ができるかと考えている。まだまだ、危険箇所等があるので調査をしながら、検討していく。

**問**

村道涼松横手線、舗装が傷んでいることを9月に質問しましたが、林道ではなく、村道であるけれど、頻繁に木材運搬をされている村道である。

そこで、この森林環境譲与税を活用しての整備はできないか。

**答 産業振興課長**

村道は、国土交通省関連予算があるので、その予算を使って村道整備、補修等をやっていくことになる。森林環境譲与税の用途、その規定に沿ってやるしかないのでご理解頂きたい。

※他に「物価高騰支援給付金について」「ICT教育について」質問した。



林道坂本山江線の舗装陥没箇所



林道坂本山江線のガードレール破損箇所



林道坂本山江線の落石箇所



横谷 巡 議員



# ■ 放置された空き家の解体推進を求めて！ ■ 営農指導専門職員の配置について！

村内集落の空き家の状況は

**問**

村内集落で、空き家の点が見られ、景観が悪化するなどの影響を与えている。今後、空き家は増加の一途を辿ると考えられるが、村内集落の空き家の状況はどうか。

**答 企画調整課長**

令和3年度の空き家調査で182戸、その内、活用可能な空き家は124戸、居住不可は58戸、倒壊危険は55戸で、人口減少に併せて世帯数も減少傾向にあることから、空き家は増加傾向にあると推測している。



空き家バンク登録と解体推進の支援策は

**問**

村の空き家バンクに登録された土地、家屋のここ3年間の成約実績はどうか。

**答 企画調整課長**

空き家バンク登録の3年間の実績は、登録件数6件の内、成約物件は6件である。

**問**

放置された空き家の解体を推進するため、相続登記等の解決を促す相談支援、解体経費助成の独自支援を本村の地域創生として取り組む考えはなにか。

**答 企画調整課長**

令和6年4月1日から、土地や家屋の相続が義務化されたのに伴い、解決を促すため、県内司法書

士等団体による無料相談会が開催されている。継続的な開催に村として協力していきたい。解体費用の独自支援は、空き家バンク登録が条件であるので、情報提供に努め、都会等からの移住定住の促進を図るなど、地域創生として取り組んでいきたい。

**営農指導専門職員の配置の考えは**

**問**

本村農業の現状は厳しい状況に直面しており、これからの行く末がとて不安である。今こそ本村農業の営農をどのように守り、維持していくのか、厳しい中にも明るい展望が開けるような対策として、営農指導専門職員を配置し、農業振興を図る考えはないか。

**答 産業振興課長**

村として、農業振興を図る上で効果的な施策として考え、関係機関等に出向き相談、個人的にも打診するなどの対応をしている。しかし、なかなか実現に結びつかないのが現状である。専門職員を配置することで、生産者や新規就農者への助言指導はもとより、役場職員の知識向上にもつながるので、引き続き情報収集に努めていきたい。





白川 俊博 議員



## ■ 村税等の収納状況

### ■ 消防団員の現状と今後

### ■ 交通指導員の処遇を伺う

徴収率向上に向けた効率的な対策を！

**問**

国保税の収納率の推移 (R3～R5)

**答 税務課長**

村民税(個人) 97%台、村民税(法人) 100%、固定資産税 94%台、軽自動車税 100%、国保税 70%台で推移。

**問**

住宅及び水道・農集排水使用料の収納率の推移は。

**答 建設課長**

住宅使用料 98%台、水道及び農業集落排水使用料は 96%台で推移。

**問**

介護及び後期高齢保険料の収納率の推移は。

**答 健康福祉課長**

介護保険料は 99%台、後期高齢者保険料は概ね

100%で推移。

**問**

ケーブルテレビ使用料の収納率の推移は。

**答 企画調整課長**

96～97%台で推移。

**問**

毎年のように収入未済額が計上され滞納が生じているがその対策は。

**答 税務課長**

相談窓口の明確化、分割納付の提案、自治体間での併任徴収など実地調査を行い効率的な対応を行っている

機能別消防団員の再編成も協議へ

**問**

消防団には、基本消防団員と機能別消防団員とあるが現団員数は。

**答 総務課長**

基本消防団員が 135人、

機能別消防団員が 56人。

**問**

機能別消防団員の構成や活動内容は。

**答 総務課長**

平成 22 年に発足、現在は男性 55 人、女性 1 人。主な活動は、後方支援など限定した活動を行うものとされ、現在まで出動要請も無く活動も行っていない。

**問**

機能別消防団員の再編成の検討は。

**答 総務課長**

機能別消防団員は有事の際、必要不可欠な団員であるとして認識している。今後の在り方については協議を行う。

交通指導員の手当等の改善を検討

**問**

交通指導員の出勤状況は。

**答 総務課長**

年間の出勤は 50 日程度。

**問**

近隣市町村の出勤日数や手当等の現状を伺う。

**答 総務課長**

10 日～60 日程。手当は異なる、本村の委託料は近隣で最も高い額。

**問**

各市町村で交通指導の実情の違いもあるが手当など改善の考えはないか。



街頭指導を行う指導員

**答 総務課長**

安全協会役員と協議をし、今まで委託料のみの支払いから、今後は基本委託料と出勤手当の合計額を支払う。



久保山直巳 議員

# ■ 消防団再編成及び編成後の体制を伺う

## ■ 機能別消防団活動を伺う

### ■ 石倉拠点整備基本計画・産業支援ゾーンの稼働時期は？



**消防団再編成及び編成後の体制について**

**問**

本村、消防団の再編成について各地区にて協議が行われていると思うが、編成後の規模や現在までの進捗状況を伺う。

**答 総務課長**

昨年から協議を始めており正副団長と分団長との協議を6回開催している。そして、分団としての方針を決めて、それをもとに地元後援会との協議を4回行っている。進捗については、まだ方針が決まっていない。協議課題として、分団長報酬額の件、後援会の今後の形式、積載車の扱い等ひとつずつ解決していくために、今から協議をはじめていく。

**問**

昨今の災害が頻発する中、編成を期に、新しい

取組みや新制度の導入として、新技術システム「ドローン・AI」などの導入計画があるのか伺う。

**答 総務課長**

物資運搬用ドローンなどの具体的な導入計画はないが、今後検討していく必要があると思っている。本村の地域防災の向上に向け、どのような新技術システムが有効なのか導入している地域を調査して課題、効果等を検証していきたいと思っている。

**問**

**機能別消防団活動について**

役割や業務の範囲はどのように定義されているか伺う。

**答 総務課長**

一定の役割に限定して活動する団員で、有事の際には基本団員と同様の活動を行うということが山江村消防団災害出動に

関する規定である。

**問**

火災時の初期消火活動及び後方支援活動も出来るのか伺う。

**答 総務課長**

団長の要請のもと、後方支援をするような出動要請があれば後方支援にまわるといような活動はできる。

**問**

研修、訓練等の状況を伺う。

**答 総務課長**

今後において、座学を中心とした研修会や、村で実施予定の総合防災訓練に参加を呼びかけたいと思っている。

**問**

**石倉拠点整備基本計画・産業支援ゾーン**

将来的にミニライスを

ンター等の整備を検討とあるが現時点での構想の内容、稼働時期の目標を伺う。

**答 企画調整課長**

旧栗選果場の土地を活用し、特産物である山江栗の集出荷等の関連施設やミニライスをセンターなど、産業支援設備の構想を持っており、内容については、山江村未来づくり協議会において、継続的に土地の利用方法や運営方法などを検討し進めていくとしている。



旧栗選果場



西 孝恒 議員

## ■ 消防団のあらゆる 通信手段の確保について ■ 獣害対策について



**問**

消防団への緊急時出動要請の伝達のあり方については、「山江村消防団災害出動に関する規定」にもあるが、初動体制はどのようなものか、伝達の流れと通信手段について。

**答** 総務課長

緊急の場合は、あくまでも団員は団長の要請のもとに動くということになる。従って団員は、はやる気持ちを抑えて要請を待っていただくというのが原則である。通信の手段としては現在 IP 無線を活用しているが、各分団長にしかいかないので、団員にはグループ LINE により出動要請がかかることがある。

**問**

消防団が出動した現場における通信のあり方や使用する機器について「消防団無線活用マニュアル」があ

るかどうか確認していないが、現状について。

**答** 総務課長

マニュアルについては作成していない。現在災害現場における通信手段としては、IP 無線やトランシーバー、必要に応じて個人の携帯電話等である。消防団の無線活用マニュアルについては、今後どのような通信手段が適切有効であるか、団員と協議の上でマニュアル化は検討したい。

**問**

消防団のあらゆる通信確保の提案としてアマチュア無線の活用ですが、特に非常時や災害時にその有効性が見直されていて、非常時外でも社会貢献等の活動から使用可能となっているので、消防団のあらゆる事態や通常の活動にも有効と思うが、使用するには免許が必要な為、取得希望者への費用を助成することについて。

**答** 総務課長

アマチュア無線については、今回総務省でも使用する定義が明確化されていて、社会貢献制度や災害時の通信手段として地域社会に重要な役割を果たしており、特に災害発生時にはその特性を發揮することが期待される。この消防団のアマチュア無線の取得については、大変効果があると思うているが、免許取得経費や助成については今後調査し、団員等の話し合いの中で方向性が出たら検討したい。

他に「獣害対策について」質問した。



総務省 HP より



## 令和7年第3回山江村議会臨時会

令和7年3月27日、第3回臨時会を開催し、公共工事請負変更契約の締結について2件令和6年度補正予算4件の合計6件を可決しました。

- ・公共工事請負変更契約の締結について  
令和5年度2災補橋第5679号村道県道柚木川内線（柚木川内橋）橋梁災害復旧工事（上部工）  
令和5年度2災補橋第5135号村道荒神光永恵線（足算瀬橋）橋梁災害復旧工事（上部工）
- ・令和6年度山江村一般会計補正予算（第8号）
- ・令和6年度山江村特別会計国民健康保険事業補正予算（第4号）
- ・令和6年度山江村簡易水道事業会計補正予算（第5号）
- ・令和6年度山江村農業集落排水事業会計補正予算（第4号）

## 令和6年度下球磨町村議会正副議長会議員研修

令和7年2月14日、令和6年度下球磨町村議会正副議長会議員研修が山江村農村環境改善センターで開催され本村議会も参加しました。

熊本大学法学部教授の伊藤洋典先生を講師に「議会の活性化と委員会制度」を演題に実例を使っ  
ての講演がありました。



## 令和6年度球磨郡町村議会・人吉市議会合同研修



令和7年2月19日、パルティール福寿庵（錦町）にて、令和6年度球磨郡町村議会及び人吉市議会との合同研修が行われました。

講師に、くま川鉄道（株）社長の永江友二氏を迎え「くま川鉄道の存続意義」と題し、講演がなされました。



# 議員活動の一コマ



## 山江村議会現地調査

4月3日 令和6年度の事業完了後の現地を確認するため、全議員出席のもと現地調査を万江地区にて行いました。村道吐合宇那川線道路災害復旧工事や、林道向鶴線改良工事など、令和2年7月豪雨で被災した災害復旧箇所を中心にを行いました。

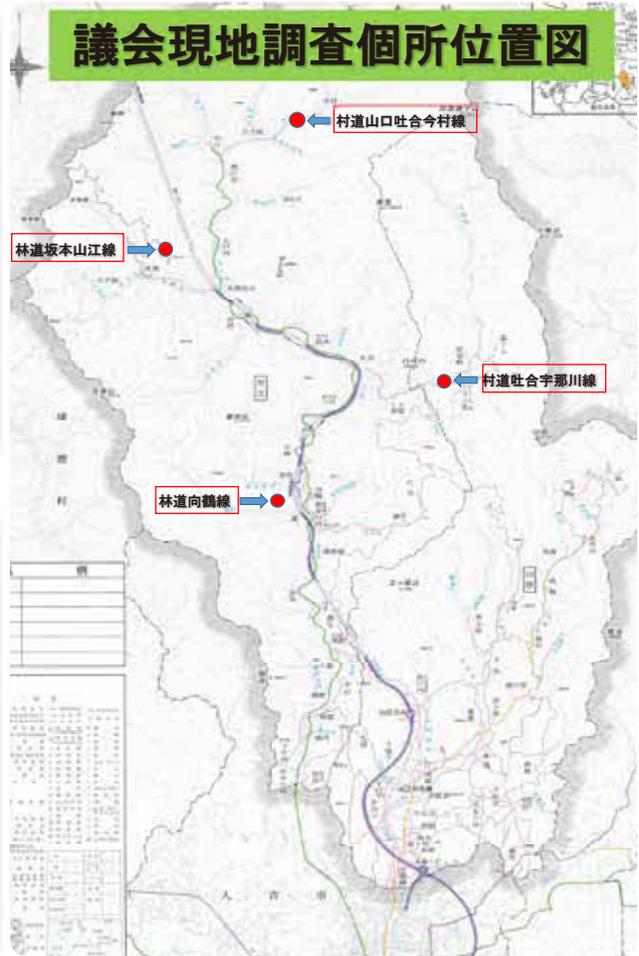


村道山口吐合今村線道路災害復旧工事



林道向鶴線改良工事

### 議会現地調査箇所位置図



### だんだんあ

季節は変わり新緑が眩しい季節となりました。朝から元気に登校する子供たちの声が響き、村内の田んぼでは畔草を刈る草刈り機の音が聞こえ始めました。愈々農繁期を迎えようとしています。

昨年は、暖冬と夏場の猛暑で農作物の作柄に影響があり特にコメは高温による変色やカメムシの異常発生により品質が低下し、高価格にも関わらず等級が下がり生産者米価に影響が出たようです。

文部科学省・気象庁が今年3月に公表した「日本の気象変動2025」のなかで、気象変動に関する政府間パネルの報告書を引用して「人間の影響が大气、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない」また「世界的な気温上昇の影響で、大雨・高温など極端な現象の発生頻度と強度が増加していること、今後一層強化した対策がとられなければ影響は更に大きくなる」と指摘しています。

山江村においては、地球温暖化防止に向けて「ゼロカーボンシティ宣言」を行い2050年には二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指しています。

昨年「農作業中に熱中症で搬送されました」と身近な人から聞き他人ごとではないと痛感しました。これから暑い中での作業が続きます。どうか無理をされませんようご自愛下さい。

(文責 北田 愛介)

【山江村議会広報編集特別委員会】

委員長／本 田 りか  
委員／白 川 俊博

久保山 直巳  
北 田 愛介